

【平成30年2月現在 策定検討案】

就学前の教育・保育は遊びを通して学んでいきます。



乳児保育にかかわる
ねらい及び内容

健やかに伸び伸びと育つ

身近な人と気持ちが通じ合う

身近なものとかかわり感性が育つ

育みたい資質・能力
幼児教育において

小学校教育

学習意欲の向上

教科学習の内容を実感しながら理解

豊かな心と健やかな体
やってみる

だいすき
だっこで見つめ合ったり優しく話しかけてもらったりなどして情緒が安定します。

ねえ、こっち見て
自分の発見や欲求を喃語や指さしで知らせます。「みつけたね」「うれしいね」と応えることで特定の人と関わろうとします。

まねして・みだてて・〇〇ごっこ
掃除機をかける真似、コップを持って飲む真似、積み木を電話にみだてて話したり、「どうぞ」「ありがとう」とやりとりしたりする中で、言葉を覚え、友だちと遊ぶ楽しさを知ります。

健康な心と体
健康な心と体づくりにはよく食べ、よく体を動かしてあそびます。

ここまでのぼれたよ
「このチームはおおよいね」「じゅんげんしよ」

道徳性・規範意識の芽生え
葛藤や折り合いをつける経験は、自分の気持ちを調整することにつながります。



散歩は 楽しいな
安心できる人と場所で、見たり触ったりする機会を通して、周りへの興味や好奇心が芽生えてきます。

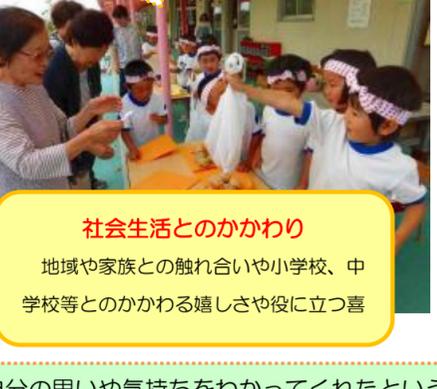
「どれにする」「どっちがいい」
「いやいや」「じぶんで」と自己主張ができるようになると身近な大人に「そうだね」と気持ちを言葉にしたり選んばせてもらったりして、自分で決める経験をすることが意欲につながっていきます。

わたってジャンプ たのしいね
またぐ、くぐる、走る、よじ登る、押すなど全身を使う動きや、つまむ、丸める、めくるなど手や指を使う遊びで自分の体をコントロールする力がついていきます。

数・文字等への関心
生活・遊びを通して数、図形文字への関心が芽生えてきます。

思考力の芽生え
物の性質や仕組みに気づき、考えたり、工夫したりしていきます。

自立心・粘り強さ
自分のことは自分でしようと最後までやりぬく経験は自信につながります。



子どもは“笑ったら笑い返してくれる”“泣いたら「どうしたの」と聞いてくれた”など自分の思いや気持ちをわかってくれたという身近な人の経験の中で人と**気持ちが通じ合っていきます**。そして“自分のことが好き”という**自尊感情**が芽生えます。子どもたちは、その感情を基盤にしながら興味や意欲を広げていきます。園での教育は、環境を通して行い、子どもが主体的に遊び、豊かな経験・体験を通じて**「生きる力・共に生きる力の基礎」**を育てています。子どもは**「遊びを通じた学び」**によって多くのことを身に付けています。心をときめかせ、遊びに夢中になる活動・経験を通して、生涯にわたる学びの芽生えを培っていきます。

子育て支援
0歳から就学前までの親子を対象に体験保育や行事への参加、子育て相談を実施しています。

地域・家庭との連携
地域に開かれた園を目指します。保護者と共に子どもの成長を確認し、子育ての喜びを実感していく関係を作っています。

人権
一人一人が、かけがえない存在と実感し、さまざまな活動を通してお互いの個性を尊重し合い、人(他者)との豊かな関係を築き育みます。

特別支援
一人一人のよさを伸ばし、共に育ち合う仲間づくりを目指します。関係機関と連携をとって、子どもを理解し、教育・保育を進めていきます。

保・幼・こ・小・中との連携
就学前教育・保育で、大切にしていることを、小中学校へ発信し、共有していきます。子ども同士の交流や、教師間の連携を図り、園の学びにつなげるために体験や行事参加などを行っています。

協同性・考え工夫する
仲間と一緒に試行錯誤しながら、実現する喜びを味わいます。

